

第 26 回青年交流集会

全港湾東北地方ひたち支部青年女性部

綿引和馬

2 月 21 日～23 日に愛知県豊橋市で青年対策交流集会が開催されました。

全港湾中央本部から松永書記長に「各協定」について、千葉執行委員、樋口執行委員から「災害時における港湾従事者」についてオルグを受けました。

1 日目の「協定」については、資料をもとに三六協定、産別協定について学びました。三六協定は、法定労働時間や法定休日を超えて労働させる場合に使用者と労働組合が締結するものであり、私たち労働者の労働時間を適正に管理し、命と安全を守るための重要な協定であると学びました。また、産別協定は産業全体の労働条件を定める基準であることを知りました。オルグ終了後は分散会を行い、各班で意見交換や質疑内容をまとめました。

2 日目は「災害時における港湾従事者」について、主に東日本大震災や阪神・淡路大震災での状況、災害後の作業内容、今後の対策や課題について学びました。改めて、港湾従事者が危険と隣り合わせの現場で作業していることを実感しました。私自身も東日本大震災を経験しましたが、震災を知らない世代が増えていく中で、経験者の話を聞くことや現地を訪れることが風化防止につながり、緊急時には適切に行動できる力になると感じました。また、各職場での災害マニュアルの策定・掲示、避難場所の周知、情報共有の徹底が、一人でも多くの命を守ることに繋がると考えます。終了後は 1 日目と同様に各班で意見交換を行いました。班ごとに異なる質問が出され、大変刺激を受けました。

レクリエーションのドッジボールや懇親会も最高に盛り上がり楽しく交流を深めることができました。今回の青年対策交流集会に参加でき、とても濃い 3 日間となりました。

最後に、講師を務めてくださった中央本部の皆様、進行・準備をくださった関東地方の皆様、そして参加された全港湾青年部の皆様、お忙しい中本当にありがとうございました。